

高瀬堰からのお知らせ(第31号)

令和3年度 高瀬堰におけるアユ仔魚の降下調査の結果について

アユの赤ちゃん※をスムーズに堰を通過させる取組をしています！(令和3年 調査終了)

- 高瀬堰では、アユの赤ちゃんが川を下る10~12月に、堰からの放流を片岸からだけにするだけで、貯水池内に強い流れを作り、アユの赤ちゃんが堰をスムーズに通過する(下る)ための支援をしています。
- 今年度の調査でも“貯水池に入ってきた赤ちゃん”に近い数の赤ちゃんが堰を通過したので、アユの赤ちゃんが高瀬堰をスムーズに通過したことが分かりました。

※アユは秋に川で産まれてすぐに海に下って冬を過ごし、春にまた川に上って、そこで大きくなります。寿命は1年です。赤ちゃんは仔魚(しぎょ)といいます。仔魚は産まれて数日で、餌のある海へ下らないと死んでしまうといわれています。

調査結果の概要
 貯水池に入ってきたアユの赤ちゃんの採取結果: 約500個体/1晩

アユの赤ちゃんが川を下る時期は、こちらからだけ放流して強い流れを作る

普段は両方から放流

高瀬堰

普段は両方から放流

調査結果の概要
 高瀬堰を通過したアユの赤ちゃんの採取結果: 約400個体/1晩

【アユの一生】

赤ちゃん(約5mm)
 川で産まれて直ぐに海へ下る

赤ちゃん(仔魚)の拡大写真

子供(約5cm)
 冬を海で過ごして春に川へ上る

川で成長して大人(約15cm)になる

漁でとられたアユは皆さんの食卓へ